

職 種	助教
募集人数	1名
勤務場所	京都大学 生態学研究センター (所在地: 〒520-2113 滋賀県大津市平野2丁目509-3)
募集内容	<p>京都大学生態フィールド学系は、本学の生態学研究センター（以下、生態研）、フィールド科学教育研究センター（以下、フィールド研）と、野生動物研究センターの教員人事を統括する組織です。今回の勤務地となる生態研は、1991年に地球圏－生物圏国際協同研究計画の一環として創設され、我が国の生態学および生物多様性科学において中心的な役割を担っており、「生物多様性・生態系の統合的研究および次世代の育成を通じて、人と自然の持続的関係の構築に貢献する」をセンター全体のビジョンとして掲げ、大部門制で運営しています。また、生態研は共同利用・共同研究拠点として機能しているだけでなく、理学研究科における大学院教育も担っています。</p> <p>今回の公募では、上記のうち生態研とフィールド研に関わる、以下の要件を満たす若手教員を公募します。本公募では、（1）従来の専門分野にとどまらない、学際融合的・発展的・国際的な、広い視野での生態学・生物多様性科学・フィールド科学を主導し、（2）生態研とフィールド研が持つ研究教育資源（水産・臨海実験所、調査船、研究林、圃場、分析システム、データベースなどの研究施設・機器等）を有効に活用した研究を意欲的に推進する人材を求めます。</p> <p>本公募では、上記対象分野の研究・教育を推進するとともに、これまでの専門分野にとどまらず、広い視野で共同研究ができる方を望みます。特に、生態学の視点から、生態研の上記研究目標に沿ったプロジェクトを積極的に立案・推進し、独創的な成果を上げ得る方を希望します。</p> <p>また、学部生・大学院生の教育については、授業を担当していただくことは予定しておりませんが、生態研の他の教員が実施する授業や実習などへの参加を通じて活動していただきます。大学院生の研究指導についても、生態研の他の教員と協力しながら指導していただくことを予定しております。</p> <p>なお、テニユア付与については、原則として雇用後4年が経過するまでに中間審査を、雇用期間満了の1年前までにテニユア取得の審査を行います。審査委員会でテニユア取得が適当と認められた場合、テニユア教員（任期無し）となり、その際の職階は准教授、講師または助教となります。また、テニユア取得後、大学院生の指導などの教育研究活動については、理学研究科生物科学専攻動物学教室の協力講座の教員として活動していただく予定です。</p>
対象分野	生態学
応募資格	<ul style="list-style-type: none"> ・女性限定（「男女雇用機会均等法」第8条（女性労働者に関わる措置に関する特例）の規定により、京都大学における研究者の女性割合を積極的に改善するための措置） ・博士の学位を有するか（ただし、令和5年3月末日時点で博士学位取得後7年以内）、または着任までに取得の見込みがあること ・国籍は問いませんが、日本語による十分なコミュニケーションができること
着任時期	令和5年4月1日以降のできるだけ早い時期
任期	7年（再任無し）・テニユアトラック
試用期間	あり（6か月）
勤務形態	<p>専門業務型裁量労働制（1日7時間45分相当、週38時間45分相当）</p> <p>休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日</p> <p>年次有給休暇等休暇制度有</p>
給与・手当等	本学支給基準に基づき決定
社会保険	文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険および労災保険に加入
応募方法	<p>提出書類</p> <p>（1）センター長宛の応募文</p>

	<p>(2) 履歴書（出産、育児または介護により研究を中断した期間がある場合は、応募者の申し出により、研究業績の審査において考慮しますので、その旨を記入してください）</p> <p>(3) 研究業績目録（主要著作5編に印を付して下さい） (a) レフェリー制度のある学術誌に発表した原著論文、(b) 総説、(c) 著書、 (d) その他（紀要やプロシーディングス、解説記事など）に分けること。</p> <p>(4) 主要著作（上記）の別刷等</p> <p>(5) 外部資金獲得状況の説明書</p> <p>(6) 学会での活動、社会貢献活動などの説明書</p> <p>(7) 応募者のこれまで行ってきた研究の概要（2000字程度） これまで代表者・分担者として参加した研究プロジェクトがあれば、そのテーマ、プロジェクト全体としての主要成果、プロジェクト全体への応募者自身の寄与についてできるだけ簡潔にまとめること。</p> <p>(8) センターに採用された場合の研究・教育活動の構想（2000字程度）</p> <p>(9) 応募者の研究内容について問い合わせることのできる方（2名）の氏名と連絡先（電話番号、電子メールアドレス等）</p> <p>※ 提出書類は返却いたしません。</p> <p>「提出書類」をPDFファイルとして作成し、圧縮ファイルを電子メールで以下にお送りください。 application[at]ecology.kyoto-u.ac.jp（[at]を@に置き換えてください）</p> <p>書類を受領後に、受け取りの連絡をいたします。数日経過してもこの連絡が来ない場合は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。</p> <p>電子メールでの書類送付ができない場合は、以下の宛先までご郵送ください。</p> <p>〒520-2113 滋賀県大津市平野2丁目509-3 京都大学生態学研究センター 封筒の表に「若手重点戦略助教応募書類」と朱書し、可能な限り簡易書留によって郵送のこと</p>
応募締め切り	令和5（2023）年2月20日（月曜日）17時（日本時間）必着
選考方法	書類選考のうえ、面接を実施します。面接対象者には、別途連絡します。
問い合わせ先	生態学研究センター長 中野 伸一 Tel：077-549-8200 / Fax：077-549-8201
その他	<p>京都大学では、平成28年度より新たな組織「学系」により人事選考を行うこととなりました。生態学研究センターは、フィールド科学教育研究センターと学系を組織しております。このため、本公募の勤務地は生態学研究センターですが、公募は学系名（生態フィールド学系）で行います。今回の公募は、選考の過程で、面接等を行うことがあります。その際の諸経費は支給いたしません。</p> <p>提出していただいた書類は、採用審査にのみ使用します。正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。</p> <p>当センターは、男女共同参画を推進するため、女性の積極的な応募を歓迎します。出産・育児・介護休業期間中の業績については休業期間の前後と等しい業績を上げたものとみなしますので、該当する場合は履歴書に明記してください。</p> <p>京都大学では、すべてのキャンパスにおいて、屋内での喫煙を禁止し、屋外では、喫煙場所に指定された場所を除き、喫煙を禁止するなど、受動喫煙の防止を図っています。</p>
生態学研究センターの教員構成	半谷吾郎（准教授）・本庄三恵（准教授）・石田 厚（教授）・木庭啓介（教授）・工藤 洋（教授）・中野伸一（教授）・酒井章子（教授）・佐藤拓哉（准教授）・田中洋之（助教）・東樹宏和（准教授）・谷内茂雄（准教授）・山内 淳（教授）（令和4年11月30日現在、ABC順）